



中小企業技術センター協力会は当センターからの各種情報を提供するとともに、会員と当センターとの交流を促進し、もって会員と当センターの発展に協力することを目的として設立され交流事業を行っています。

その概要をご紹介します。



令和6年10月
グンゼ守山工場見学会

◇京都府中小企業技術センター協力会とは

京都府中小企業技術センター協力会は、当センターが行った技術者研修及び経営管理者研修の参加者により昭和45年10月に「京都府中小企業研修協力会」として設立されました。

当センターからの各種情報を提供するとともに、会員と当センターとの交流を促進し、会員と当センターの発展に協力することを目的としています。多くの業種の会社や個人に参加いただいております。現在会員数は115(令和6年10月現在)で京都府内だけでなく、遠くは福岡県からも加入頂いております。

◇京都府中小企業技術センター協力会の事業

これまでも設立趣旨に沿って会員相互の交流や当センター職員との交流を図るため講演会や施設見学や事業を行ってきました。令和4年にはコロナ禍で延期となっていた50周年記念イベントをDXに関連するテーマで大学や企業2社から講演をいただき開催しました。

令和6年度は7月に研究成果発表会、10月に環境問題で注目を浴びるGX(グリーントランスフォーメーション)の最先端工場であるグンゼ(株)守山工場の見学会、11月に会員企業による自社の製品や強みのテーマ発表、ポスター発表、京都先端

科学大学工学部の最大の特徴である「キャップストーン・プロジェクト」についての講演といった内容で交流会を開催して協力会会員だけでなく幅広い分野から参加いただきました。交流会終了後に、懇親会を行い久しぶりの対面形式での懇親会に会話が弾み楽しいひとときを過ごしました。

◇京都府中小企業技術センター協力会の案内

協力会は交流事業を実施するだけでなく当センター職員が協力会会員企業を企業訪問して協力会会員から当センター事業や協力会事業への意見、要望を聞いて中小企業への技術支援などに反映させて役立てています。協力会に関心ある方は是非お問い合わせください。



令和6年7月
研究成果発表会



令和6年11月
交流会(京都先端科学大学講演)